

## 技能試験用中型貨物自動車仕様書

### 1 仕様総説

車両は、広島県警察において運転免許技能試験用に使用するものであって、道路交通法施行規則第 24 条第 6 項に規定する中型免許の技能試験に使用する自動車とし、この仕様書に示す諸装置を備え、構造堅ろうで性能良好のものとし、かつ、道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）に違反しない構造とすること。

### 2 借入物品及び数量

技能試験用中型貨物自動車（トラック A T 仕様車） 2 台

### 3 納入期限

令和 8 年 3 月 30 日

詳細なスケジュールは、甲と別途協議すること。

### 4 納入場所

広島市佐伯区石内南 3-1-1 広島県運転免許センター 2 台

### 5 提出書類

- (1) 製造・改造・納入までの計画書
- (2) 車両の仕様書（各改造項目等の取扱説明書を含む。）
- (3) その他、甲が必要とする書類

### 6 納入の注意事項

- (1) 車両及び施設等の損傷、破損等が生じないように注意し、万一事故等が発生した場合は、乙において弁償すること。
- (2) 乙は、当該施設の担当職員に対し、車両の取り扱い等、業務を遂行するうえで必要な事項を文書及び口頭において通知すること。

### 7 仕様の内容

#### (1) 車両の基準

- ア 全長 7.00 メートル以上、8.00 メートル以下
- イ 全幅 2.25 メートル以上、2.50 メートル以下
- ウ 軸距 4.10 メートル以上、4.40 メートル以下
- エ 最大積載量 5,000 キログラム以上 6,500 キログラム未満
- オ 車両総重量 7,500 キログラム以上 11,000 キログラム未満
- カ 試験官用補助ブレーキ、補助ミラーを有するものであること。
- キ 試験官用スピードメーター、ウインカーパイロットランプなどを設置したもの。

#### (2) 車台及び車体

- ア A T 機構がとられており、クラッチ操作を有しないこと。
- イ 取付部品等の材質
  - (ア) 部品は、特に指定するものを除き、純正部品を使用すること。
  - (イ) 衝撃、曲がり、ねじれ等を考慮した堅ろうな部品を使用すること。
  - (ウ) 部品は、錆びた物、又は老化した物を使用しないこと。
  - (エ) 改造に当たっては、雨水の漏水しない構造とすること。
- ウ 車体内部の構造
  - ダブルキャビン、6 人乗りで、座席は布製又はビニール製とすること。

## 別紙 1

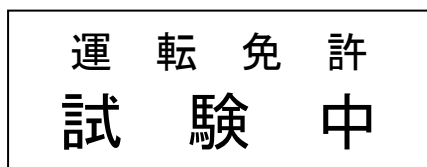
### (3) 諸装置

- ア 試験官用の補助ブレーキを試験官席右足前に取り付けること。
- イ 試験官用足かけ（フットレスト）を取り付けること。
- ウ 試験官確認用補助速度計を取り付けること。（視認性が良い位置とする。）
- エ 各確認装置（方向指示器・フットブレーキ・サイドブレーキ）の各パイロットランプを試験官席前に取り付けること。
- オ エアコン（冷暖房）は標準仕様の物を取り付けること。（エアコンの操作は、試験官席からできること。）
- カ 試験官用サイドミラー、アンダーミラー（右左前輪接地面及びその後方が視認できるよう取り付けること。）及びルームミラーを取り付けること。
- キ モニターカメラを取り付けること。（方向変換、縦列駐車時の後方間隔、路端からの発進時における左後端と路端障害物との接触、間隔が確認できるもの。）

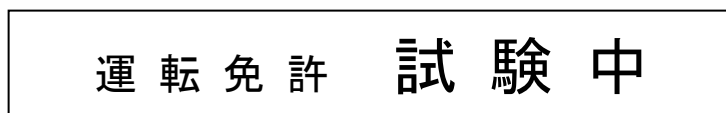
### (4) 装備品及び付属品（車両 1 台当たり）

- ア 下記の仕様による試験車表示板を前後面、左右面の 4 カ所取り付けること。

例 1



例 2



#### (ア) 「運転免許試験中」の文字の大きさ等

文字の大きさ、パネルのサイズ等の詳細については、別途協議すること。

#### (イ) 文字色等

下地           ～  白色

文字色       ～  黒色

#### (ウ) 表示板の材質

金属製板若しくはアクリル板

#### (エ) 取付方法

取付方法の詳細については、別途協議すること。

- イ 試験官席にペン立てを取り付けること。

- ウ スペアタイヤ（ホイール付き）1 本

- エ 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ、ホイール付き）1 式

- オ 停止表示板1 個

- カ 標準工具1 式

- キ 取扱説明書1 部

### (5) 車体色

別途指示

## 8 リース期間

- (1) 車両のリース期間及びリースに関する整備は、7 年とする。
- (2) 車両の減耗状況により再リースを行うこととする。
- (3) 契約走行距離は、1 台につき月間約 1,500 k mとする。

## 9 整備等

甲が公務で使用する車両を最良の状態とするため、乙及び丙は、次の整備を行うものとする。

## 別紙 1

- (1) 車両故障の際は、緊急に対応すること。
  - (2) 点検は、3 か月に 1 回（車検月・法定点検月を含む）とし、点検内容はエンジン、ブレーキ、クラッチ、油圧装置、各オイル類、灯火類、冷却水などの点検整備をすること。
  - (3) タイヤ交換は、必要に応じてローテーションし、摩耗の程度に応じて新品と交換すること。
  - (4) 冬季は必要に応じて冬用タイヤに交換するものとし、摩耗の程度に応じて新品と交換すること。
  - (5) バッテリーは、消耗の程度に応じて、必要の都度新品に交換すること。
  - (6) エンジンオイル及びオイルエレメントは、車両の仕様に基づき、必要の都度交換すること。
  - (7) 燃料以外に走行時に消費される消耗品があれば、毎点検時、必要に応じて補給すること。
  - (8) 一般消耗品は、故障の発生若しくは予想される場合は、その都度交換すること。
  - (9) 法に定める点検整備を行い、車体検査を受けること。
  - (10) 点検整備に伴う消耗品類（タイヤ、冬用タイヤ、バッテリー、及びオイル類等）については、乙又は丙の負担とする。
  - (11) 甲の故意又は重大な過失によって必要となった点検、整備及び修理は、甲の負担とする。
- 10 税金、保険料の負担  
自動車登録手数料、自動車重量税、自動車税及び自動車損害賠償責任保険料は、乙が負担すること。
- 11 賃貸借車両明細の提出について  
別紙「賃貸借車両明細」を作成し速やかに提出すること。
- 12 その他  
この仕様書についての照会は、広島県警察本部交通部運転免許課技能試験第 1 係に行うこと。〔TEL082-228-0110 内線 703-263〕

別紙

## 貸借車両明細

車名	
型式	
年式	
賃借料総額	円 月額 円
車体番号	
登録番号	
使用場所	広島県運転免許センター